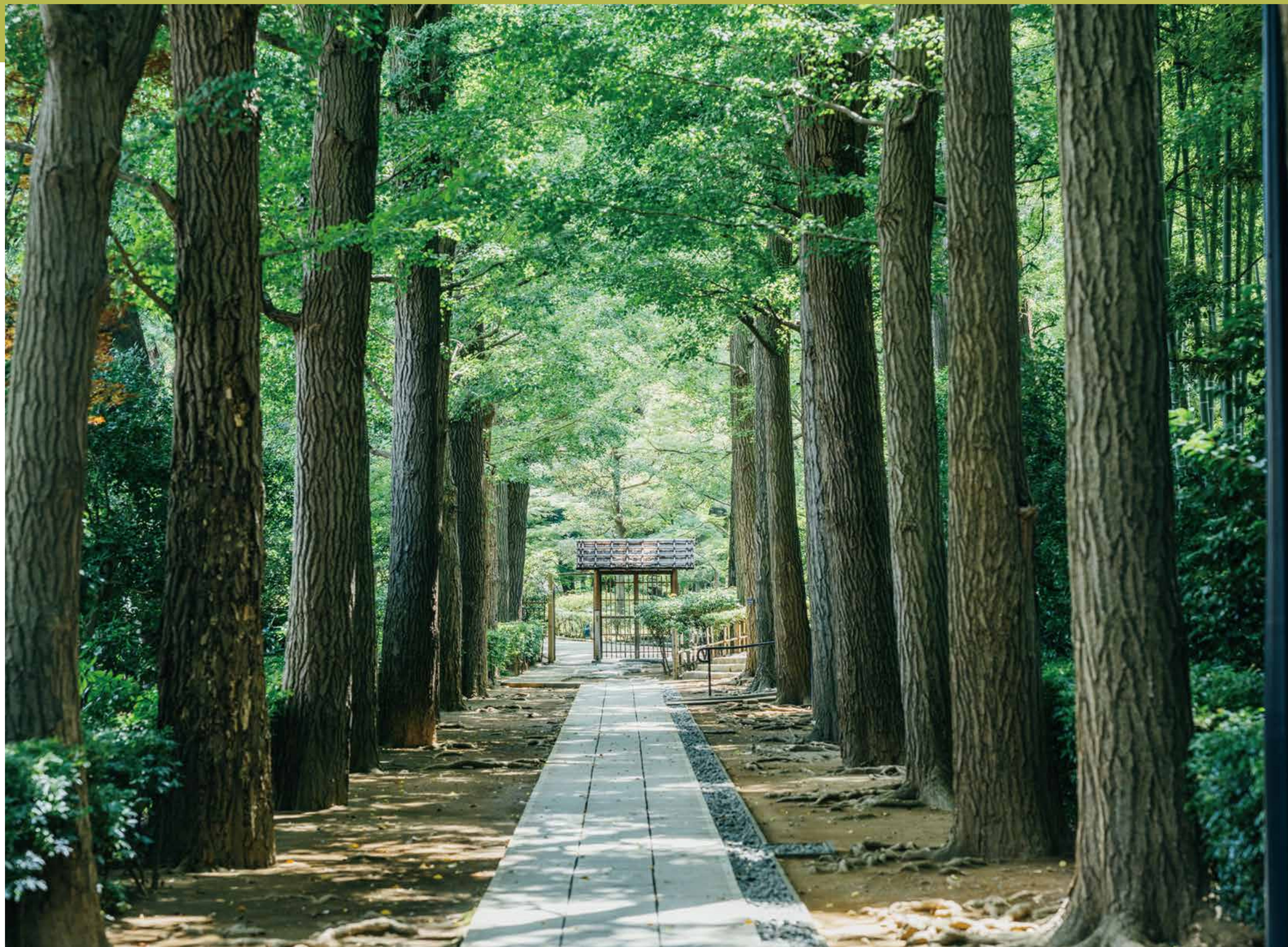


大田黒公園

大田黒公園は、日本で初めて音楽評論という分野を確立した大田黒元雄の屋敷跡を杉並区が回遊式日本庭園として整備し、1981(昭和56)年に開園しました。

園内には、樹齢100年を超えるイチョウ並木やケヤキ、モミジなどが生い茂り、紅葉の時期には多くの人が訪れます。大田黒元雄の仕事部屋だったレンガ色の洋館の設計は、銀座資生堂パーラーなどを手掛けたことで知られる建築家、前田健二郎と伝わります。現在は記念館として公開しており、2016(平成28)年に国登録有形文化財に登録されました。館内にある大田黒元雄が愛用した蓄音機や1900年製スタインウェイ社のピアノは、展示するだけでなく、実際に使用してコンサートも行っています。



提供：荻窪三庭園

■ 大田黒元雄(1893-1979)

東京生まれ。日本における音楽評論家の草分け的存在。神奈川県立第二中学校(現・小田原高等学校)を卒業後、東京音楽学校(現・東京藝術大学)にてピアノをハンカ・シェルデルupp・ペツォルトに師事。1912(大正元)年に渡英し、西洋の芸術全般に触れる。「音楽と文学」を創刊し、西洋音楽を広く紹介。

■ 前田健二郎(1892-1975)

福島生まれ。東京美術学校卒の建築家で、多くの設計競技に入選し「コンペの前健さん」と呼ばれた。戦前戦後にモダニズムと一線を画す作品を残し、日本芸術院賞などを受賞。

大田黒公園 東京都杉並区荻窪3-33-12

■開園時間 9:00～17:00
(最終入園時間、記念館最終入館時間共に16:30)

■入園料 無料

■休園日 毎週水曜日、年末年始(12月29日～1月1日)